8　強制イベント

裏切りのデロイア

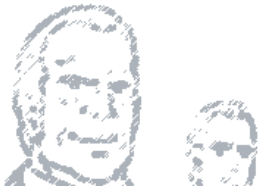
クリンの不用意な言動で、カーディナル郊外のゲリラのアジトが襲撃を受ける。

サマリン博士を軍刑務所ボックスに配置。独立機運－３。
以後、**ダグラム量産計画**を使用するためには、**ダグラム**が**ボナール**に存在しなければならない。
イベントとして使用したら取り除く。

動乱

18　強制イベント

蜃気楼の街



グランフェルド公安局長の暗躍によりボナールは解放都市から弾圧の地へと一変する。

ボナールにいる解放軍戦闘ユニットを補充プール、解放軍指揮官を潜伏ボックスへ置き、量産工場は除去する。**カーディナル守備隊**から任意の戦闘ユニットを２個までボナールに配置可能。独立機運－２。解放軍指揮官**デスタン**をゲームから取り除く。以後、**ダグラム量産計画**はイベントとして使用できない。
イベントとして使用したら取り除く。

動乱

76　解放軍イベント

ダグラム量産計画

ダグラムが盤上にあり、かつ、**ボナール**が解放軍の拠点である場合にのみ使用可能。
ボナールに**ダグラム量産工場**を配置する。新造または補充された**ダグラム量産型**は**ボナール**にのみ登場できる。
イベントとして使用したら取り除く。

動乱

75　強制イベント

燃えつききたあとに

ラコック弁務官の暗殺によって地球とデロイアの全面戦争の危機は回避される。皮肉にもそれを成したのは、かつてゲリラを裏切ったデスタンだった。

ラコックが弁務官で、かつ、**カルメル**が解放政府主席の場合にのみ、イベントとして使用する。
ラコックをゲームから取り除く。和平交渉＋２。
イベントとして使用したら取り除く。

独立戦争

60　イベント

デロイアの光と陰

反メドール三州を抱き込んだラコックはドナンの代行弁務官としてデロイアに帰還する。

ドナンが療養ボックスにあるか除去されている場合に使用可能。**ラコック**を弁務官ボックスに置く。
イベントとして使用したら取り除く。

独立戦争

58　連邦軍イベント

解き放たれた野心

ドナン・カシムが病に倒れたことをきっかけに、ラコック補佐官が独自の行動を始める。

ドナンを療養ボックスに置く。

あるいは、**ドナン**がすでに療養ボックスにあるか、除去されているなら、**ラコック**を弁務官ボックスに置く。
イベントとして使用したら取り除く。

独立戦争